

# 福祉サービス内容評価基準 ( 児童館版 )

- ・ 評価項目の判断基準
- ・ 評価基準の考え方
- ・ 評価のポイント
- ・ 評価の着眼点
- ・ 評価細目の第三者評価結果

# 評価基準の考え方・評価のポイント及び評価の着眼点（児童館版）

## A 児童館等の活動に関する事項(小型児童館用付加項目)

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点
<p><b>A - 1 遊びの環境整備</b></p> <p>A - 1 - 遊ぶ際に守るべき事項(規則)が、児童や保護者に納得できるように決められている(56)</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>・遊ぶ際に守るべき事項(規則)が、児童や保護者に納得できるように決められている。</p> <p>・遊ぶ際に守るべき事項(規則)が、児童や保護者に納得できるように決められているが、十分ではない。</p> <p>・遊ぶ際に守るべき事項(規則)が、児童や保護者に納得できるように決められている。</p> <p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)は、遊びや様々な活動を安全かつ円滑にできるような内容であり、児童たちの自主性や創造性を損なわないように配慮されているものであることが求められます。</p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)は、児童たち自身や保護者に納得できるように、簡潔な内容で分かりやすく表現されていることが必要です。</p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)について、職員間で十分に意思統一されていることが必要です。</p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)が実態にそぐわなかったり、利用者に理解されなかったりするような場合は、児童や保護者の参画のもとで検討する取り組みも考えられます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)がわかりやすいものになっている。</p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)が見やすい場所に掲示されている。</p> <p>児童たちが遊ぶ際に守るべき事項(規則)を納得し、受け入れている。</p> <p>遊ぶ際に守るべき事項(規則)を定期的に見直す機会がもうけられている。</p>
<p>A - 1 - 登録児童だけでなく、乳幼児から中高生までの一般来館児童も日常的に気軽に来館できる雰囲気がある。(57)</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>・乳幼児から中高生までの一般来館児童も日常的に気軽に来館できる雰囲気があり、実際に来館している。</p> <p>・乳幼児から中高生までの一般来館児童も来館しているが、十分でない。</p> <p>・主に登録児童のみの利用となっている。</p> <p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館は地域の全ての児童を対象とした活動が求められています。</p> <p>児童クラブの実施は児童館の基本機能に含まれますが、児童クラブを実施している場合でも、乳幼児から中高生までの児童が気兼ねすることなく日常的に気軽に来館できる雰囲気をつくり、そのための空間と時間を確保することが重要です。</p> <p>児童クラブへの登録希望者が著しく多く、本来の児童館活動に支障をきたすような場合は、近隣に児童クラブの分室を設けるなどの対応が必要です。</p> <p>あらかじめ特定に年齢層だけを対象として設置された児童館(乳幼児専用館、中高生専用館など)の場合は、同一地域内に、乳幼児から中高生までの一般来館児童が来館できる児童館等が必要になります。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>乳幼児から中高生までの一般来館児童も日常的に気軽に来館できる雰囲気がある。</p> <p>実際に乳幼児から中高生までの児童が日常的に来館している。</p> <p>児童クラブの定員が、通常の一般来館児童の活動と良好な関係を保てるように(目安として半数程度)定められている。</p>

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 1 -	児童たちが自発的且つ自由に活動できるように環境を整備している(58)	a	・児童たちが自発的且つ自由に活動できるように環境を整備している。
		b	・児童たちが自発的且つ自由に活動できるように環境を整備しているが、十分でない。
		c	・児童たちが自発的且つ自由に活動できるように環境を整備していない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館ではあらかじめ決まった遊びを児童に与えるだけでなく、児童たちが自発的・創造的に活動できるように、環境を整備しておく必要があります。</p> <p>そのためには、遊具やスペースが、指定された使用方法だけでなく、児童たちの発想で自由に工夫して活用できるようになっていることが求められます。</p> <p>また、児童達自身が遊びを自主的・創造的に発展させることができるように、児童への対応や働きかけについて、職員間で確認・合意していることも必要になります。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童館の広さにかかわらず、スペースや遊具が児童たちの発想で自由に活用できるように工夫されている。</p> <p>児童が自由に使える遊具やスペースは、使いやすく安全が配慮されている。</p> <p>職員が日常的に、児童たちの自主的な活動(遊び)を促進するように配慮している具体的な取り組みがある。</p> <p>職員からの相談、指示、援助、呼びかけなどが、場面や児童たちの気持ちを考慮して適切に行われている。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 1 - (4)	遊びの合間にのんびりした休憩したりするスペースを作っている。(59)	a	・遊びの合間にのんびりしたり休憩したりするスペースを作っている。
		b	・遊びの合間にのんびりしたり休憩したりするスペースを作っているが、十分ではない。
		c	・遊びの合間にのんびりしたり休憩したりするスペースを作っていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館には、遊びや活動のスペースだけでなく、児童同士の関係を豊にしていけるふれあいのスペースが必要です。</p> <p>のんびりしたり、休憩したり、待ち合わせをしたりするスペースには、誰でも使いやすい雰囲気があることが望まれます。</p> <p>建物の広さにかかわらず、安全に配慮しつつ廊下にベンチを置く、部屋と部屋の間フリースペースを設けるなど、限られた空間を活用する工夫が求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>特定の使用目的に限定されないリラックスして過ごせるスペースがある。</p> <p>実際に児童たちが、待ち合わせスペース等でくつろいでいたり相互に交流したりしている様子が伺える。</p>	
A - 1 -	異年齢の児童の交流の場が日常的に設定されている。(60)	a	・異年齢の児童の交流の場が日常的に設定されている。
		b	・異年齢の児童の交流の場が日常的に設定されているが、十分でない。
		c	・異年齢の児童の交流の場が、日常的に設定されていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館は、乳幼児から小学生、中高生までの幅広い年齢の児童が出会い・交流できる施設です。</p> <p>実際の運営では、安全に配慮しながら、幅広い年齢の児童と一緒に遊んだり交流したりできる場が日常的に設けられていることが求められます。</p> <p>遊びや行事、クラブ活動等においても、できるだけ異年齢の児童たちが一緒にいるいは交流しあって取り組めるように工夫することが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>異年齢の児童の来館がある。</p> <p>異年齢の児童と一緒に過ごす場がある。</p> <p>異年齢の児童たちが一緒に取り組んだり交流したりする遊びや活動が日常的にある。</p>	

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点						
A - 2 乳幼児活動								
	A - 2 - 乳幼児と保護者が日常的に来館している。(61)		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="710 183 815 237">a</td> <td data-bbox="815 183 1520 237">・乳幼児と保護者が日常的に来館している。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="710 237 815 291">b</td> <td data-bbox="815 237 1520 291">・乳幼児と保護者の来館はあるが、十分でない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="710 291 815 344">c</td> <td data-bbox="815 291 1520 344">・乳幼児と保護者の来館がない。</td> </tr> </table> <p data-bbox="742 367 1066 394">&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</p> <p data-bbox="742 412 1509 517">児童館は、乳幼児とその保護者にとって日常的な居場所となる必要があります。児童館には、あらかじめ企画された活動への参加だけでなく、乳幼児と保護者の日常来館を積極的に受け入れられるような運営姿勢が望まれます。児童館の利用規定にも、乳幼児と保護者が日常的に来館できるとされていることが必要です。</p> <p data-bbox="742 535 892 562">&lt;評価の着眼点&gt;</p> <p data-bbox="742 580 1310 685">児童館の利用規定に、乳幼児と保護者が日常来館できる規定がある。乳幼児と保護者が一緒にいて遊べる遊具やスペースがある。児童館が乳幼児と保護者の日常来館を積極的に働きかけている。乳幼児とその保護者の来館が日常的にある。</p>	a	・乳幼児と保護者が日常的に来館している。	b	・乳幼児と保護者の来館はあるが、十分でない。	c
a	・乳幼児と保護者が日常的に来館している。							
b	・乳幼児と保護者の来館はあるが、十分でない。							
c	・乳幼児と保護者の来館がない。							
A - 2 - 活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者の状態を考慮したものになっている。(62)		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="710 685 815 739">a</td> <td data-bbox="815 685 1520 739">・活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者の状態を考慮したものになっている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="710 739 815 792">b</td> <td data-bbox="815 739 1520 792">・活動の頻度、時期、内容等が十分に参加者の状態を考慮したものになっていない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="710 792 815 846">c</td> <td data-bbox="815 792 1520 846">・活動が年間を通じて実施されておらず、その内容も参加者の状態を考慮したものになっていない。</td> </tr> </table> <p data-bbox="742 869 1066 896">&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</p> <p data-bbox="742 913 1353 940">乳幼児活動は、乳幼児の発達を見通して作成されていることが望まれます。</p> <p data-bbox="710 949 1520 1016">乳幼児活動は年間を通して定期的を実施することにより、活動に参加する乳幼児とその保護者の生活リズムの形成に役立てることが出来ます。例えば、毎週の曜日や時間帯を定めてプログラムを実施するなど、安定した取り組みをする姿勢が求められます。</p> <p data-bbox="710 1025 1520 1093">参加者が多すぎたり、内容が発達段階に合わなかったりすると乳幼児とその保護者にとってストレスになることがあります。活動内容は、参加者の年齢構成や参加者数などを考慮して決めることが必要です。</p> <p data-bbox="710 1102 1520 1155">乳幼児活動に際しては、参加者のニーズにこたえるために、地域の子育て支援ネットワークや各種子育て機関と連携を図って実施していることも重要です。</p> <p data-bbox="742 1173 892 1200">&lt;評価の着眼点&gt;</p> <p data-bbox="742 1218 1437 1285">乳幼児活動が、曜日・時間・内容を定めて、週1回以上、年間を通して実施されている。年齢等の参加条件が公表され、利用者の理解を得ている。</p> <p data-bbox="742 1294 1469 1321">参加者が多い場合は、実施日を増やしたり時間帯を区分したりするなどの工夫をしている。</p> <p data-bbox="710 1330 1520 1357">乳幼児と保護者のどちらかだけを対象とした活動と、一緒に参加できる活動とを、適切に組み合わせ実施している。</p> <p data-bbox="742 1366 1385 1411">地域の子育て支援ネットワークや各種子育て機関と連携を図って実施している。相談や講座の実施など、育児に関する保護者への支援が行われている。</p>	a	・活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者の状態を考慮したものになっている。	b	・活動の頻度、時期、内容等が十分に参加者の状態を考慮したものになっていない。	c	・活動が年間を通じて実施されておらず、その内容も参加者の状態を考慮したものになっていない。
a	・活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者の状態を考慮したものになっている。							
b	・活動の頻度、時期、内容等が十分に参加者の状態を考慮したものになっていない。							
c	・活動が年間を通じて実施されておらず、その内容も参加者の状態を考慮したものになっていない。							

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 2 -	保護者同士が交流できるような配慮や、企画への保護者の参画が実施されている。(63)	a	・保護者同士が交流できるような配慮や、企画への保護者の参画が実施されている。
		b	・保護者同士が交流できるような配慮や、企画への保護者の参画が、十分に実施されていない。
		c	・保護者同士が交流できるような配慮や、企画への保護者の参画が実施されていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>子育てに対する不安は、同じ子育て中の友人を得て、子育ての悩みや喜びを分かち合うことにより軽減されます。乳幼児活動では、活動への参加だけでなく、保護者同士の交流の機会を作ることが重要です。</p> <p>また、保護者の能力を発揮する場を提供するなど、保護者が主体的に参画できる運営を工夫することも必要です。保護者が主体となり、行事等を企画・運営をする機会を設ける等も考えられます。</p> <p>母親だけでなく、父親等の他の家族も参加できるようにし、男性の子育てへの参画を促進することも望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>乳幼児活動を通じた、育児不安の解消や虐待の早期発見・予防について、職員が共通の意識を持てるような研修やケース検討の機会を設けている。</p> <p>保護者同士の交流を促すような場の設定がある。</p> <p>保護者が企画や運営に主体的に参画できるように工夫している。</p> <p>保護者と職員とが協働で行う活動がある。</p> <p>乳幼児の保護者にも、児童館活動の全体を知らせ、理解と協力を得ている。</p> <p>地域の子育て支援関係者(主任児童委員、民生児童委員、等)や、他機関の専門家(保健師、助産師、等)がプログラムに関わる機会を設けている。</p>	
<b>A - 3 小学生対応(核となる児童館活動)</b>			
A - 3 -	職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している(64)	a	・職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。
		b	・職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助しているが、十分ではない。
		c	・職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助していない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館の職員には、遊びや活動の援助・指導とともに、個々の児童に対してその状態や心理を把握して適切な援助をすることが求められます。</p> <p>そのためには、児童との信頼関係の構築と、児童から職員への話しかけが自然に行われる雰囲気作りが必要になります。</p> <p>実際の援助に当たっては、成功体験とともに失敗や過ちを含めてより良い方向に成長していけるよう、児童を見守ったり励ましたりすることが求められます。</p> <p>個々の児童の観察や援助の方法、児童の起こすトラブルや喧嘩・羽目をはずす行為などの対応や予防については、その場の対処だけに終わることなく、職員間で報告しあい、ケースカンファレンスを行うなどしてスキルを向上させる必要があります。</p> <p>特に、遊び友達もいない、遊ぶことも決まっていない状態で、居場所を求めて来館する児童への援助では、見通しを持って丁寧なかかわりをすることが求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>一人で来館した児童への援助が適切に行われている。</p> <p>遊びの場面で起こるけんかやトラブル・羽目をはずす行為などへの対応が、気持ちを荒れさせることなく児童たちの成長につながるよう適切に行われている。</p> <p>日常活動の中で、職員が児童たちから遊びに誘われたり児童から相談されたりすることが自然な形で行われている。</p> <p>児童への対応について、個々の事例に関する検討が職員間で行われている。</p> <p>職員がより適切な対応ができるようなスキルアップにむけた研修等が実施されている。</p> <p>「新たな遊び」や「伝承遊び」を児童たちに働きかけており、実際に行われている。</p>	

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点						
A - 3 -	職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。(65)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="715 129 815 185">a</td> <td data-bbox="815 129 1524 185">・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 185 815 241">b</td> <td data-bbox="815 185 1524 241">・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけているが、十分ではない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 241 815 297">c</td> <td data-bbox="815 241 1524 297">・児童との関わりにおいて、職員が集団援助技術を念頭においていない。</td> </tr> </table> <p data-bbox="715 297 1524 353"><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p data-bbox="715 353 1524 409">児童は遊びやさまざまな活動を通じて集団を媒体として成長します。児童館ではこのことを意識した児童への働きかけを行うことが必要です。</p> <p data-bbox="715 409 1524 488">職員は、児童がグループメンバーとしての相互作用を通じて成長し、そのグループが児童館活動に主体的にかかわることができるようになっていくという、グループの発達プロセスを見通した実践することが望まれます。</p> <p data-bbox="715 488 1524 521">そのために職員は、次のようなことに取り組むことが求められます。</p> <ul data-bbox="715 521 1524 656" style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの児童に対して、より多くの児童たちとふれあい一緒に遊び活動する機会を設けるように働きかける。</li> <li>・児童が遊びやさまざまな活動の中で競い合ったり励ましあったりしながらお互いに信頼を高め、成長し合えるように支援する。</li> <li>・一人で来館した児童やあまり知らない児童もグループとして活動できるように働きかける。</li> <li>・個々の児童の成長過程への理解に基づいて見通しを持った働きかけを心がける。</li> </ul> <p data-bbox="715 656 1524 745">特に、グループで来館している児童たちの場合は、そのグループの中や他のグループとの関係が、息苦しい関係になっていたり、排他的になつたりしないように、グループワーク(集団援助技術)を念頭において働きかけることが必要になります。</p> <p data-bbox="715 745 1524 779"><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p data-bbox="715 779 1524 813">職員がグループワーク(集団援助技術)を学習し実際に活用している。</p> <p data-bbox="715 813 1524 880">職員は、個々の仲間集団との関わりについて具体的に把握しており、そのグループの成長とその中での個々の児童の成長の過程を意識して関わっている。</p> <p data-bbox="715 880 1524 936">職員間で、来館する児童の集団援助の取り組みや、他児との関わりでトラブルが多い、遊びが続かないなどの課題を持った児童への対応について事例検討をし、記録している。</p>	a	・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。	b	・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけているが、十分ではない。	c	・児童との関わりにおいて、職員が集団援助技術を念頭においていない。
a	・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。							
b	・職員が集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけているが、十分ではない。							
c	・児童との関わりにおいて、職員が集団援助技術を念頭においていない。							
A - 3 -	障害のあるなしや国籍を超えて、児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。(66)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="715 936 815 992">a</td> <td data-bbox="815 936 1524 992">・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 992 815 1048">b</td> <td data-bbox="815 992 1524 1048">・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われているが、十分でない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="715 1048 815 1104">c</td> <td data-bbox="815 1048 1524 1104">・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われていない。</td> </tr> </table> <p data-bbox="715 1104 1524 1160"><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p data-bbox="715 1160 1524 1216">国籍の異なる児童が来館する児童館では、異なる文化や生活の背景を持つ児童たちがお互いに理解を深められるような交流を工夫することが必要です。</p> <p data-bbox="715 1216 1524 1272">障害のある児童が来館する児童館では、その児童が楽しく安心して過ごせるように、児童館全体(ハード・ソフト両面)の配慮が必要です。</p> <p data-bbox="715 1272 1524 1328">職員は、児童たちが障害のあるなしや国籍を超えて、思いやりを育み学びあいができるように働きかけることが望まれます。</p> <p data-bbox="715 1328 1524 1361"><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p data-bbox="715 1361 1524 1429">国籍の異なる児童が来館する児童館では、その児童と保護者に対して、円滑な児童館利用ができるような案内や説明が行われている。</p> <p data-bbox="715 1429 1524 1485">障害のある児童が他の児童と遊びや活動と一緒に参加できるように、配慮や工夫がされている。</p> <p data-bbox="715 1485 1524 1543">職員は、児童たちが、障害のあるなしや国籍を超えて思いやりを育み学びあいができるように働きかけている。</p>	a	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。	b	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われているが、十分でない。	c	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われていない。
a	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。							
b	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われているが、十分でない。							
c	・障害のあるなしや国籍を超えて児童たちが一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われていない。							

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 3 -	行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の参画を意識して企画されている。(67)	a	・行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の参画を意識して企画されている。
		b	・行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の参画を意識して企画されているが、十分でない。
		c	・行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の参画を意識して企画されていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館の活動は、日常来館している児童たちにとって楽しみになるように、日常の遊び・活動と行事とが無理なくお互いに補い合うように計画されていることが必要です。</p> <p>素材や道具を用いる制作活動や、継続的に技術の向上を図る必要のある活動は、定例的な企画や、クラブ活動などに組織化することも必要です。</p> <p>行事やクラブ活動を行う際には、その企画・運営に可能な限り児童の参画を促していくことにより、児童たちに自治的な力を育てていくことが求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>行事が日常活動とのバランス(実施回数や来館者数)を考慮して企画されている。</p> <p>行事が、普段児童館を利用していない児童たちの利用につながるように工夫されている。</p> <p>職員の企画による活動やクラブ活動等の取り組みがある。</p> <p>行事やクラブ活動を行う際に児童たちの参画を心がけている。</p>	
<b>A - 4 放課後児童対応</b>			
A - 4 -	児童たちが生活する場所として、リラックスできる家庭的な雰囲気がある(68)	a	・児童たちが生活する場所として、リラックスできる家庭的な雰囲気がある。
		b	・児童たちが生活する場所として、リラックスできる家庭的な雰囲気があるが、十分でない。
		c	・児童たちが生活する場所として、リラックスできる家庭的な雰囲気がない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童クラブの居室には、休息する、横になるといった生活の場としての行動が気軽にとれる設備条件と指導面の配慮が必要です。</p> <p>児童クラブの居室には、利用児童が所持品等を収納する自分用の場所や、学習、読書、室内遊びができるスペースがあることが望まれます。</p> <p>児童クラブでは、児童たちがリラックスできて落ち着ける家庭的な雰囲気を保つことが求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童クラブ専用室がある。</p> <p>児童クラブ専用室には、利用児童が所持品等を収納する自分用の場所や、学習、読書、室内遊びができるスペースがある。</p> <p>児童クラブに児童がリラックスできつろいでいる様子がある。</p> <p>児童館内に体調の悪い児童が静養できるスペースがある。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 4 -	児童たちが基本的な生活習慣を培うことができるように働きかけている。(69)	a	・児童たちが基本的な生活習慣を培うことができるように働きかけている。
		b	・児童たちが基本的な生活習慣を培うことができるように働きかけているが、十分でない。
		c	・児童たちが基本的な生活習慣を培うことができるように働きかけていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童クラブでは、年齢にふさわしい基本的な生活習慣を培うことができるような環境作りや配慮を、家庭と連絡を取りながら適切におこなわれることが望まれます。</p> <p>また、児童クラブで生活するうえで求められるルールや規範は、児童が納得できるようにわかりやすく簡潔なものであることが求められます。</p> <p>職員は、児童の持ち物の自己管理・掃除や片づけの習慣・安全や衛生についての知識や習慣の獲得に向けた働きかけを、見通しを持って取り組む必要があります。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>職員は、児童が自ら基本的な生活習慣を獲得できるように働きかけている。</p> <p>生活の決まりや児童クラブでの生活に求められる基本的な生活習慣の獲得に関する事項が、児童に理解できるように設定され、室内に掲示されている。</p> <p>室内の備品・遊具、児童の持ち物等が整理整頓されている。</p> <p>手洗いやうがい、体調に合わせた衣服の着脱など、安全衛生や自己の健康管理に関する指導が適切に行われている。</p> <p>児童クラブでの児童に対する基本的な生活習慣を培う取り組みが、保護者に説明され、理解されている。</p>	
A - 4 -	個々の児童の状況を把握し、必要に応じて個別援助計画を作成している。(70)	a	・個々の児童の状況を把握し、必要に応じて個別援助計画を作成している。
		b	・個々の児童の状況を把握し、必要に応じて個別援助計画を作成しているが、十分でない。
		c	・個々の児童の状況を把握しておらず、個別援助計画も作成していない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童クラブでは個々の児童の状況について継続的に把握する必要があります。</p> <p>登録児童一人ひとりの性格や発達状況(健康面・情緒面)、家庭や学校での生活の状況、他者(友達や職員等)との関わり方の傾向等を把握するよう努めることが望まれます。これらについては、統一された様式によって把握するシステムがあることが望まれます。</p> <p>必要に応じて個別援助計画を作成して意識的に関わることもあります。その際には、ケースワーク(個別援助技術)を活用し、インテーク(受理)、アセスメント(事前評価)、プランニング(計画)、インターベンション(介入)、エヴァリュエーション(評価)のプロセスを意識した支援を行うことが望まれます。</p> <p>児童の生活の様子、身体状況や生活状況等について連絡帳などを活用して家庭と伝えあい、共通理解を持つことが求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童の状況を把握するシステムと書式が整っている。</p> <p>保護者会記録、通信、児童クラブ指導記録、個人面談記録、家庭との連絡帳、行事の実施記録などに、必要に応じて個々の児童の状況が記録されている。</p> <p>職員が個々の児童の状況を把握し、個別に方針を持って対応している。</p> <p>特に必要がある児童には、個別援助計画を作成している。</p> <p>児童の生活の様子について家庭と連絡を取り合っている。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 4 -	登録児童以外の児童たちとも交流できる機会を設けている。(71)	a	・登録児童以外の児童たちとも交流できる機会を設けている。
		b	・登録児童以外の児童たちとも交流できる機会を設けているが、十分でない。
		c	・登録児童以外の児童たちとも交流できる機会を設けていない。
		<p>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</p> <p>児童の多様な経験を保障するために、放課後児童クラブでは登録児以外の児童との交流の機会を日常的に設ける必要があります。</p> <p>児童館の一般利用児童との良好な関係作りへの配慮も求められます。</p> <p>友達を児童クラブに招く、友達の家遊びに行くなど、児童館利用児以外の児童とも交流できる機会を設けていることが望まれます。</p> <p>&lt;評価の着眼点&gt;</p> <p>放課後児童クラブ登録児童と登録児童以外の児童と一緒に遊んだり交流したりする機会が、日常的に保障されている。</p> <p>児童館利用児童以外の児童とも一緒に遊んだり交流したりする機会が設けられている。</p>	
A - 4 -	保護者、学校など関係者と日常的に連携し、信頼関係を築くことに努めている。(72)	a	・保護者、学校など関係者と日常的に連携し、信頼関係を築くことに努めている。
		b	・保護者、学校など関係者と日常的に連携し、信頼関係を築くことに努めているが、十分でない。
		c	・保護者、学校など関係者と日常的に連携し、信頼関係を築くことに努めていない。
		<p>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</p> <p>児童クラブでは、児童の予定や状況について保護者と日常的に連絡を取り合っており、お互いの理解を深め、保護者との信頼関係を築くことが求められます。</p> <p>日中働いている児童クラブの保護者は、交流する機会が少ないため、意図的にその機会を設ける必要があります。そのために、保護者会や保護者と児童で参加できる行事等、保護者同士の交流の機会を設けることが求められます。</p> <p>児童クラブの運営に際しては、児童の下校時刻や学校行事の把握、緊急時の連絡・協力などをはじめとして、学校と連絡をとりあう必要もあります。</p> <p>児童の状況についても、必要に応じて学校と情報交換することが求められます。</p> <p>&lt;評価の着眼点&gt;</p> <p>児童の状況について日常的に家庭と連絡を取り合う手段(連絡帳など)が設けられている。</p> <p>児童クラブでの児童の様子と家庭での児童の様子が継続的に連絡しあっている。</p> <p>保護者会、個人面談などが定期的に設けられている。</p> <p>保護者同士の交流の機会を設けている。</p> <p>児童クラブの保護者が、登録児以外の保護者と交流できる機会を設けている。</p> <p>児童の学校からの下校時刻が年間を通して把握されている。</p> <p>緊急時に学校と連絡を取り合うシステムが確立されている。</p> <p>学校長や担任教諭、養護教諭と直接会って話をしている。</p>	
A - 5 中学生対応			
A - 5 -	日常的に中学生の来館がある(73)	a	・日常的に中学生の来館がある。
		b	・日常的に中学生の来館があるが、十分でない。
		c	・日常的に中学生の来館がない。
		<p>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</p> <p>中学生の健全育成を図ることは、児童館にとっても大きな課題になっています。</p> <p>下校時刻が遅い中学生が来館できるよう開館時間等を工夫する活動する場を用意することが求められます。</p> <p>来館する中学生に対しては、年齢に相応する対応をして、中学生が自ら進んで遊びや活動を行えるようにすることが求められます。</p> <p>中学生が小学生と同じ時間帯で利用している児童館では、自分より小さい児童への思いやりや配慮、遊びをより楽しくする工夫などを自主的に行えるように職員が働きかけや援助を行うことが求められます。また、中学生が独自に利用している場合であっても、児童館活動の全体を知らせて、児童館活動全体に、年齢相応の役割を持って参画できるような働きかけをすることが望まれます。</p> <p>&lt;評価の着眼点&gt;</p> <p>中学生の来館がある。</p> <p>日常的に中学生だけで使える場や時間が設定されている。</p> <p>中学生が参加できる開館時間設定になっている。</p> <p>児童館の案内パンフレットや各種お便りに、中学生の来館を呼びかけたり中学生に向けた記事がある。</p> <p>職員の中生が来館した時の対応や、声掛けが適切である。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 5 -	中高生が主体性や社会性を養えるように、成長過程を意識した企画を実施している。(74)	a	・中高生が主体性や社会性を養えるように、成長過程を意識した企画を実施している。
		b	・中高生が主体性や社会性を養えるように、成長過程を意識した企画を実施しているが、十分でない。
		c	・中高生が主体性や社会性を養えるように、成長過程を意識した企画を実施していない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館を中高生の居場所として機能させるには、中高生が自ら進んで参加できる遊びや活動を企画し参加を呼びかけることが必要になります。</p> <p>実際の取り組みに当たっては、中高生の意見を聞き、中高生自身が自ら進んで企画や活動に参画できるようにするなどの工夫が求められます。</p> <p>職員は、児童館の活動を通して主体性や社会性を養えるように、その児童たちの発達過程と特徴を捉えた適切な対応をする必要があります。</p> <p>また、児童館に中高生の居場所をもうけて中高生を対象にした活動をするには、地域の人々の理解と健全育成に携わる団体や来館児童の保護者の協力が必要です。</p> <p>職員には、児童館での中高生の居場所作りに取り組むと同時に地域の関係団体が行き届く中高生対応の活動にも協力し、中高生の地域の中での居場所を広げ、充実させる取り組みを進めることが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>中高生が自ら進んで参加できる遊びや活動が取り組まれている。</p> <p>中高生が小学生のプレイリーダー的役割を担っている活動がある。</p> <p>中高生が児童館の企画や運営に参画する努力が行われている。</p> <p>児童館での中高生の居場所作り、児童館来館児童の保護者の理解と協力を得る取り組みが行われている。</p> <p>中高生が乳幼児と触れ合う機会を、日常場面や行事等の中で設定している。</p> <p>地域の関係団体が行き届く中高生対応の活動に協力している。</p>	
<b>A - 6 相談や問題行動への対応</b>			
A - 6 -	児童や保護者からの相談が自然な形で行われている。(75)	a	・児童や保護者からの相談が自然な形で行われている。
		b	・児童や保護者からの相談が自然な形で行われているが、十分でない。
		c	・児童や保護者からの相談が自然な形で行われていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童の悩みや生活上の疑問の相談に応じ、適切に対応することは、児童館職員の大切な仕事の領域です</p> <p>児童の保護者に対しても、子育ての不安や悩みの相談相手になり、必要に応じて適切な援助機関を相談することが求められます。</p> <p>児童館における相談活動には、日常活動の中で行われる場合と相談窓口を設けて取り組む場合があります。特に乳幼児の保護者に対しては、この双方に取り組むことが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>乳幼児の保護者に対する相談への対応や情報提供が日常的に行われている</p> <p>乳幼児の保護者に対して、子育てについての知識を学ぶ機会や相談窓口が設けられている。</p> <p>児童からの相談への対応が適切に行われ、記録されている。</p> <p>保護者からの相談への対応が適切に行われ、記録されている。</p> <p>育児に関する保護者からの相談窓口が整っている。</p> <p>相談の内容によっては必要となることが予想される児童相談所や保健センター等の関係機関との連携が整っている。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - (6) -	被虐待児や不登校児への支援体制が整っている。(76)	a	・被虐待児や不登校児への支援体制が整っている。
		b	・被虐待児や不登校児への支援体制が整っているが、十分でない。
		c	・被虐待児や不登校児への支援体制が整っていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>今日の社会状況の中では、児童館に来館する児童の中に、被虐待児が含まれていることも想定されます。</p> <p>来館児童の中に被虐待児を発見した場合、児童館全体で適切な対応をする体制を整えておくことが求められます。</p> <p>不登校児を児童館に迎え入れ、児童間の交流や職員との信頼関係を構築することを通じて、児童の社会性を養えるようにしていくことも児童館の大切な役割です。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>職員は、虐待されている児童の発見や、発見後の対処についてのスキルを身につけている。</p> <p>被虐待児が発見された場合の児童相談所への連絡をはじめとする関係機関との連携が確立されている。</p> <p>発見された被虐待児への支援が適切に行われている。</p> <p>不登校児の来館に対する支援の方針がある。</p> <p>来館している不登校児への支援が適切に行われている。</p>	
<b>A - 7 障害児対応</b>			
A - 7 -	障害のある児童の来館に対応する支援策が整っている。(77)	a	・障害のある児童の来館に対応する支援策が整っている。
		b	・障害のある児童の来館に対応する支援策が整っているが、十分でない。
		c	・障害のある児童の来館に対応する支援策が整っていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館は本来、障害のあるなしに関わらず、18歳までのすべての児童が利用できる施設です。</p> <p>障害のある児童が来館している児童館では、保護者の協力を得て、その児童の状況と必要な支援を把握し、適切に援助することが求められます。</p> <p>現状では、適切な支援が困難であると思われる場合は、ボランティアの活用や保護者の協力など、視野を広げた取り組みをして、適切な支援をすることが必要になります。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>障害のある児童の利用とその支援策について、職員の意志統一が図られている。</p> <p>来館している障害のある児童に対して適切な支援が行われている。</p> <p>障害への理解と支援のスキル等について、職員への研修や、ケースカンファレンスが行われている。</p> <p>発達障害児の来館に対応する支援策が整っている。</p>	

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点
<p><b>A - 8 地域の子育て環境づくり</b></p> <p>A - 8 - 住民による子育て支援活動や健全育成活動を推進している。(78)</p>	<p>a ・住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。</p> <p>b ・住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進しているが、十分でない。</p> <p>c ・住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進していない。</p>	<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館の実践を通じた児童福祉の促進には、児童分野を中心とした地域組織・団体(自治会、PTA、子ども会、老人会、青年団、商店会、子育てグループ、民生・児童委員、主任児童委員、母親クラブ、ボランティアグループ等)と良好な関係を持つことが必要です。また、地域との相互関係をもつには、児童館に一般住民が出入りしやすい雰囲気求められます。</p> <p>児童館の職員は、多くの住民が子育て支援活動や健全育成活動に関われるように地域の住民や関係団体に働きかけることが求められています。</p> <p>子育て支援活動や健全育成活動をしている住民やグループとは、活動場所や児童館の資源の提供とともに、活動自体の連携が求められます。</p> <p>児童館が、地域における子育て支援活動や児童の健全育成活動に積極的な役割を担うためには、児童館を支える地域の人々で構成される運営委員会(運営協議会)を設け、機能させる必要があります。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>子育て支援活動や健全育成活動を行う地域組織・団体・住民を把握し、連絡を取り合っている。</p> <p>子育て支援活動や健全育成活動を行う地域組織・団体・住民との協力関係がある。</p> <p>子育て支援活動や健全育成活動を行う地域の自主活動を支援している。</p> <p>子育て支援活動や健全育成活動を行う住民や地域組織の利用がある。</p> <p>住民による自主的な子育て支援活動や健全育成活動の立ち上げを、児童館として支援している。</p> <p>住民との協働企画による行事や各種活動がある。</p> <p>児童館に運営委員会(運営協議会)が組織されており、定期的開催されている。</p> <p>運営委員会が実効的に機能している。</p>
<p>A - 8 - 地域社会で児童が安全に過ごせるように働きかけている。(79)</p>	<p>a ・地域社会で児童が安全に過ごせるように働きかけている。</p> <p>b ・地域社会で児童が安全に過ごせるように働きかけているが、十分ではない。</p> <p>c ・地域社会で児童が安全に過ごせるように働きかけていない。</p>	<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館には、地域の環境を児童にとって安全なものにしていくために活動することが求められます。そのためには、職員が進んで、多くの住民が地域の子どもの安全に配慮するような働きかけをすることが必要となります。</p> <p>具体的な取り組みには、地域の公園の遊具点検、地域の見回りや児童の遊びの見守り、児童に関する犯罪の防止活動などの実施、それにかかわる住民活動や地域組織との協力、住民の意識喚起等の実践等があげられます。</p> <p>特に、児童館への来館時や帰宅時の経路の安全については、児童館自体の努力とあわせて地域住民の協力を得ることが大切です。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童館への来館時や帰宅時の経路の安全について、安全確保のための方針を作って、児童と保護者の協力のもとに実施している。</p> <p>児童館への来館時や帰宅時の経路の安全について、地域の人々、団体の協力を得て、取り組みを進めている。</p> <p>児童・保護者、地域住民とともに、地域社会で児童が安全に遊べるための活動に取り組んでいる。</p> <p>地域の見回りや児童館外での児童の遊びの見守りを実施している。</p> <p>地域住民と協力して、地域の公園遊具の安全点検、地域の見回り、児童に関する犯罪の防止活動などを実施している。</p>

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点
<b>A - 9 広報活動</b>		
	A - 9 -	広報活動が自治体や健全育成団体と連携して適切に行われている。(80)
	a	・広報活動が自治体や健全育成団体と連携して適切に行われている。
	b	・広報活動が自治体や健全育成団体と連携して適切に行われているが、十分でない。
c	・広報活動が自治体や健全育成団体と連携して適切に行われていない。	
<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>広報活動は、児童館における健全育成活動・子育て支援活動への理解を広め、児童館活動への参加を促進するために大切な活動です。</p> <p>広報活動は、児童館活動が対象とするすべての人々に行き渡るように行うことが求められます。</p> <p>広報活動自体は健全育成活動の一環でもあるという認識のもとに、自治体や健全育成団体と連携して適切に行われることが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>広報活動が定期的に行われている。</p> <p>施設独自の広報用パンフレットを作成し、活用している。</p> <p>利用対象児童のいる地域の学校全体に向けた広報活動が取り組まれている。</p> <p>児童館のお便りが、地域の関係者や関係機関・団体に配布されている。</p> <p>自治体や健全育成団体と連携した広報活動を行っている。</p>		
<b>A - 9 -</b>		
	A - 9 -	地元広報誌やインターネット等を効果的に活用した広報活動が行われている。(81)
	a	・地元広報誌やインターネット等を効果的に活用した広報活動が行われている。
	b	・地元広報誌やインターネット等を効果的に活用した広報活動が行われているが、十分でない。
c	・地元広報誌やインターネット等を効果的に活用した広報活動が行われていない。	
<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>広報活動をより効果的上がる媒体を活用して行うことは、今日特に大切になってきています。</p> <p>地元広報誌やインターネット、自治体の広報誌、健全育成団体との提携などは、今後更に活用が望まれる分野です。</p> <p>自前の「おたより」「パンフレット」などによる広報活動と共に、これらの媒体を効果的に活用した広報活動を行うことが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>個人情報保護やプライバシー、肖像権等に配慮しつつ、インターネット(ホームページ等)を活用した広報活動を積極的に行っている。</p> <p>地元広報誌(紙)や自治体の広報誌(紙)、健全育成団体との提携(相互掲載等)等を積極的に活用している。</p> <p>広報活動の効果と課題について定期的に検討する機会を設けている。</p>		

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
A - 9 -	児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている。(82)	a	・児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている。
		b	・児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われているが、十分でない。
		c	・児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>児童館の広報活動は、それ自体が健全育成活動の一環でもあります。</p> <p>広報活動は、児童館活動の実際と方針を、分かりやすく利用者に伝えると共に、児童や保護者が「参加してみよう」「行ってみよう」と思えるように、その内容や記述を工夫する必要があります。</p> <p>広報活動の内容は、利用者の意見を聞き、絶えず点検・改善していくことが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>広報の内容と視点(ねらい)が明確にされている。</p> <p>児童の保護者に分かりやすく興味を持てるように工夫されている。</p> <p>児童館活動の実際が的確に表現されている。</p> <p>広報の内容に児童と保護者や、関連する機関・団体の声が反映されている。</p>	

**B 大型児童館の活動に関する事項(大型児童館用付加項目)**

遊びの環境整備、乳幼児活動、小学生対応、相談や問題行動への対応、障害児対応、地域の子育て環境づくり、広報活動については、小型児童館用付加項目の該当する部分を準用する。

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
<b>B - 1 大型児童館の特色を生かした地域児童館等との連携</b>			
B - 1 -	大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用している。(83)	a	・大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用している。
		b	・大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用しているが、十分でない。
		c	・大型児童館としての施設・設備や人材、プログラムを備え、有効に活用していない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館の活動は、利用者のニーズや県内の実情等を踏まえた児童館としての明確な方針をもってプログラム作成することが求められます。</p> <p>プログラム作成にあたっては、施設・設備に依存することなく、むしろプログラムが施設・設備を活用する視点をもって取り組むことが求められます。</p> <p>また、実際の活動は、スタッフ(職員)だけでなく、市(区)町村の児童館職員や、健全育成活動に協力する人々をパートナーとして積極的に活用することが求められます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>大型児童館の施設・設備や、人材の活用、プログラムの作成に明確な方針を持っている。県内の健全育成に携わる人々の中から幅広く人材を活用している。スタッフ(職員)自身が健全育成活動の有能な人材になるよう、目標をもって活動している。県内の実情と児童の状況に即した建設的で創造的な活動プログラムが作成されている。施設・設備や人材、プログラムを有効に活用する運営方針を持ち、実行している。</p>	
B - 1 -	県内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいる。(84)	a	・県内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいる。
		b	・県内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいるが、十分でない。
		c	・県内全域を対象にした健全育成活動に取り組んでいない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>県内全域を対象にした健全育成活動には、大型児童館が直接行うものと、市区町村の児童館活動と協力し、地域の児童館を主体にして取り組むものがあります。</p> <p>実際の取り組みにあたっては、地域の児童館をはじめとして、健全育成団体、市区町村との協力のもとに進めていく必要があります。</p> <p>大型児童館が県内全域に向いて直接健全育成活動を行うことは、地域のニーズに答えるだけでなく、児童館活動についての啓蒙・啓発にもなる大切な取り組みです。</p> <p>特に、まだ児童館のない地域への活動は、児童館の必要性を広めて児童館作りにもつなげることができます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>「移動児童館」「移動ワークショップ」など、大型児童館が直接県内全域を対象とした活動に取り組んでいる。</p> <p>県内全域を対象にした健全育成活動が、地域の実情を捉えて、効果的に企画・実施されている。</p> <p>県内の児童館活動の発表・交流など、広域を対象とした健全育成活動を、大型児童館が主催して取り組んでいる。</p> <p>大型児童館の行う県内全域を対象にした健全育成活動の取り組みに、地域の児童館や市(区)町村、健全育成団体等の協力がある。</p>	

評価基準のための評価項目		評価結果	評価のポイント及び着眼点
B - 1 -	児童館活動等に関する情報収集が適切に行われている。(85)	a	・児童館活動等に関する情報収集が適切に行われている。
		b	・児童館活動等に関する情報収集が適切に行われているが、十分でない。
		c	・児童館活動等に関する情報収集が適切に行われていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館には、県内の児童館をはじめとする健全育成活動・子育て支援活動を活性化させ発展させる拠点としての役割があります。</p> <p>その役割を果たすためには、児童館活動等の実情を把握して、そのなかから積極的な活動を広めていくこと、課題を提起していくことが求められます。</p> <p>情報収集にあたっては、県内の活動に留まらず全国の先進的な活動事例や、児童に関する研究成果、今日の児童育成に関する問題などの収集にも努める必要があります。</p> <p>ネットワーク構築とともに、児童館・児童館連絡協議会・自治体・地域の健全育成や子育て支援に関わる団体等の協力を得る必要があります。</p> <p>収集した情報の整理・分析と還元も、情報収集活動の大切な役割です。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>情報収集を行う部門(担当)がある。</p> <p>情報収集を行うためのネットワークが構築されている。</p> <p>情報収集について、児童館、自治体、健全育成や子育て支援に関わる団体等からの積極的な協力がある。</p> <p>収集された情報の整理・分析が適切に行われている。</p> <p>収集した情報が効果的に県内に還元されている。</p>	
B - 1 -	地域児童館へのプログラム提供が適切に行われている。(86)	a	・地域児童館へのプログラム提供が適切に行われている。
		b	・地域児童館へのプログラム提供が適切に行われているが、十分でない。
		c	・地域児童館へのプログラム提供が適切に行われていない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館には、健全育成活動や子育て支援活動について先駆的なプログラムを開発したり紹介したりして、地域児童館の活動の活性化を促す役割もあります。</p> <p>プログラムの開発・紹介は、スタッフだけで行うのではなく、地域の人材を積極的に活用することが求められます。</p> <p>プログラムの提供には、資料の提供の他、メディアの活用や研究会、ワークショップ、見学会の開催など、プログラムの内容に即して効果的な方法を発案して取り組むことが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>健全育成活動・子育て支援活動等に関するプログラムの開発や収集が積極的に行われている。</p> <p>地域児童館へのプログラム提供の方針と計画が作成されている。</p> <p>プログラム提供の効果的な方法が検討されている。</p> <p>提供したプログラムの効果を検証し改善する作業が定期的に行われている。</p>	
B - 1 -	地域児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいる。(87)	a	・地域児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいる。
		b	・地域児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいるが、十分でない。
		c	・地域児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに取り組んでいない。
		<p><b>&lt;評価基準の考え方と評価のポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館には、県児童館連絡協議会として、地域児童館の職員に対する研修や相互交流の機会づくりに積極的に取り組むことが求められます。</p> <p>地域児童館の職員に対する研修や相互交流を進めるためには、県や市町村(担当部署)との協力・提携を円滑に行う必要があります。</p> <p>研修や交流の内容を充実させるためには、児童館の実態・課題や職員の実情・意識等に関する適切な把握に努めることが望まれます。</p> <p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>県児童館連絡協議会として、児童館職員の研修や交流の機会づくりに取り組んでいる。</p> <p>県や市町村(担当部署)との協力・提携が円滑に行われている。</p> <p>大型児童館を活用した研修・交流が計画的に取り組まれている。</p> <p>研修や交流の内容が適切に設定できるよう、関連する情報の収集・分析が行われている。</p>	

評価基準のための評価項目	評価結果	評価のポイント及び着眼点	
<p><b>B - 2 健全育成の環境作り</b></p>	B - 2 -	<p>児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に取り組んでいる。(88)</p>	
	a	<p>・児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に積極的に取り組んでいる。</p>	
	b	<p>・児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に積極的に取り組んでいるが、十分でない。</p>	
	c	<p>・児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究に積極的に取り組んでいない。</p>	
	<p><b>&lt;判断基準の考え方とポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館は、県内の健全育成活動の拠点として、児童の健全育成に関する普及・啓発と調査研究にも取り組むことが求められます。</p> <p>普及啓発や調査研究は、大学や研究機関等と提携するなど、県内の人材を活用し、県や市町村の協力も得て進めることが望まれます。</p>		<p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童の健全育成に関する普及啓発と調査研究の課題をリサーチする取り組みを行っている。</p> <p>大学や研究機関と提携して、児童の健全育成に関する調査研究や普及啓発のテーマや内容の開発に取り組んでいる。</p> <p>児童の健全育成に関する普及・啓発と調査研究を行う際に、県や市町村の協力を得て実施している。</p>
	B - 2 -	<p>児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。(89)</p>	
	a	<p>・児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいる。</p>	
	b	<p>・児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいるが、十分でない。</p>	
	c	<p>・児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組んでいない。</p>	
	<p><b>&lt;判断基準の考え方とポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館は、県児童館連絡協議会として、児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりに積極的に取り組むことが求められます。</p> <p>ネットワークづくりは、「連絡体制がある」ということに留めず、実際の活動と結びついて発展できるように工夫し、絶えず連絡を取り合っていくことが必要です。</p> <p>地域団体等への支援は、それぞれの団体の特性を生かしながら、協力し、共通の課題にも取り組めるように支援していくことが求められます。</p>		<p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>施設の運営方針に、児童の健全育成に関わる地域団体等の支援とネットワークづくりが明記されている。</p> <p>地域団体等の支援とネットワークづくりを行う部門(スタッフ、担当)がある。</p> <p>地域団体等の支援とネットワークづくりについて、県児童館連絡協議会として、役割を果たしている。</p> <p>地域団体への支援やネットワークづくりの状況について、定期的に点検し、方針を充実させる取り組みが行われている。</p>
	B - 2 -	<p>児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われている。(90)</p>	
	a	<p>・児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われている。</p>	
b	<p>・児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われているが、十分でない。</p>		
c	<p>・児童の健全育成に関する関係機関との連絡・協議が適切に行われていない。</p>		
<p><b>&lt;判断基準の考え方とポイント&gt;</b></p> <p>大型児童館には、県児童館連絡協議会として、県内の健全育成に関する関係機関との連絡・協議の中心的な役割を果たすことが求められます。</p> <p>関係機関との連絡・協議は、機関として行う定例的なもの他に、課題や分野別に行うものがあります。</p> <p>課題や分野別に行う連絡・協議に際しては、適切に情報を収集し、時期や検討内容を効果的に設定することで効果を期待することができます。</p> <p>スタッフは、個々の経験を蓄積するだけでなく、方針と計画をもって取り組み、その結果から成果や教訓を明らかにして、関係機関との連絡・協議が実際の健全育成活動に効果的に機能するように努めることが望まれます。</p>		<p><b>&lt;評価の着眼点&gt;</b></p> <p>児童の健全育成に関する連絡・協議の中で大型児童館が果たしている役割や位置について明確に把握している。</p> <p>県児童館連絡協議会として、その連絡・協議の事務局としての役割を担えるように努力している。</p> <p>児童の健全育成に関する連絡・協議に常に適切な情報収集に基づいた方針をもって臨んでいる。</p> <p>児童の健全育成に関する連絡・協議が、円滑かつ適切に進められるように努めている。</p>	